

ズグロカモメの索餌地の生態系復元に関するプロジェクト

- 1 自治体名：中国 遼寧省
- 2 発表者名：盧 明玥（遼寧省実験中学校 高1）
王 鶴霓（東北育才外国語学校 高2）
- 3 活動名：ズグロカモメの索餌地の生態系復元に関するプロジェクト
- 4 活動期間：2015～2018 年
- 5 活動場所：盤錦市双台河口自然保護区南小河保護センター
- 6 活動参加人数：グループ活動の参加人数は 20 人
プロジェクト参加のボランティア人数は 2000 人
- 7 発表概要：

ズグロカモメの索餌地におけるゴカイ資源が次第に枯渇するため、ゴカイの卵を人工養殖し、ズグロカモメの索餌地に撒くという方法でプロジェクトを実施している。このプロジェクトはまず、山東省栄城、河北省楽亭と遼寧省丹東からゴカイの母体を採取し、それから、盤錦に運送し、さらに当地の孵化場で人工孵化をする。孵化した卵を順次に索餌地に運び、撒く。また、母体の出生地にも戻す。このプロジェクトはエビの孵化場を利用しているため、施設を新しく作る必要がなく、資金の節約にもなる。また、孵化を世話するボランティアを募集し、ゴカイの卵の自然成長と増殖を見守り、ゴカイ資源とズグロカモメの索餌地の生態系を復元する。

このプロジェクトは3年連続で実施する。“鳥にしか与えなくて、人が取ってはいけない”という原則を守り抜くことにより、ゴカイ資源が徐々に復活し、次第にズグロカモメの索餌地の生態系も回復していく。

以下の三つのポイントについて、順次に発表していく。

- 1、環境保護活動グループの由来について紹介する。
 - 2、ズグロカモメ、ズグロカモメ保護協会、ゴカイについて紹介する。
 - 3、ズグロカモメの索餌地の生態系復元に関するプロジェクトの参加・進捗状況について紹介する。
- 8 発表時の発表媒体の有無
有 (Power point)